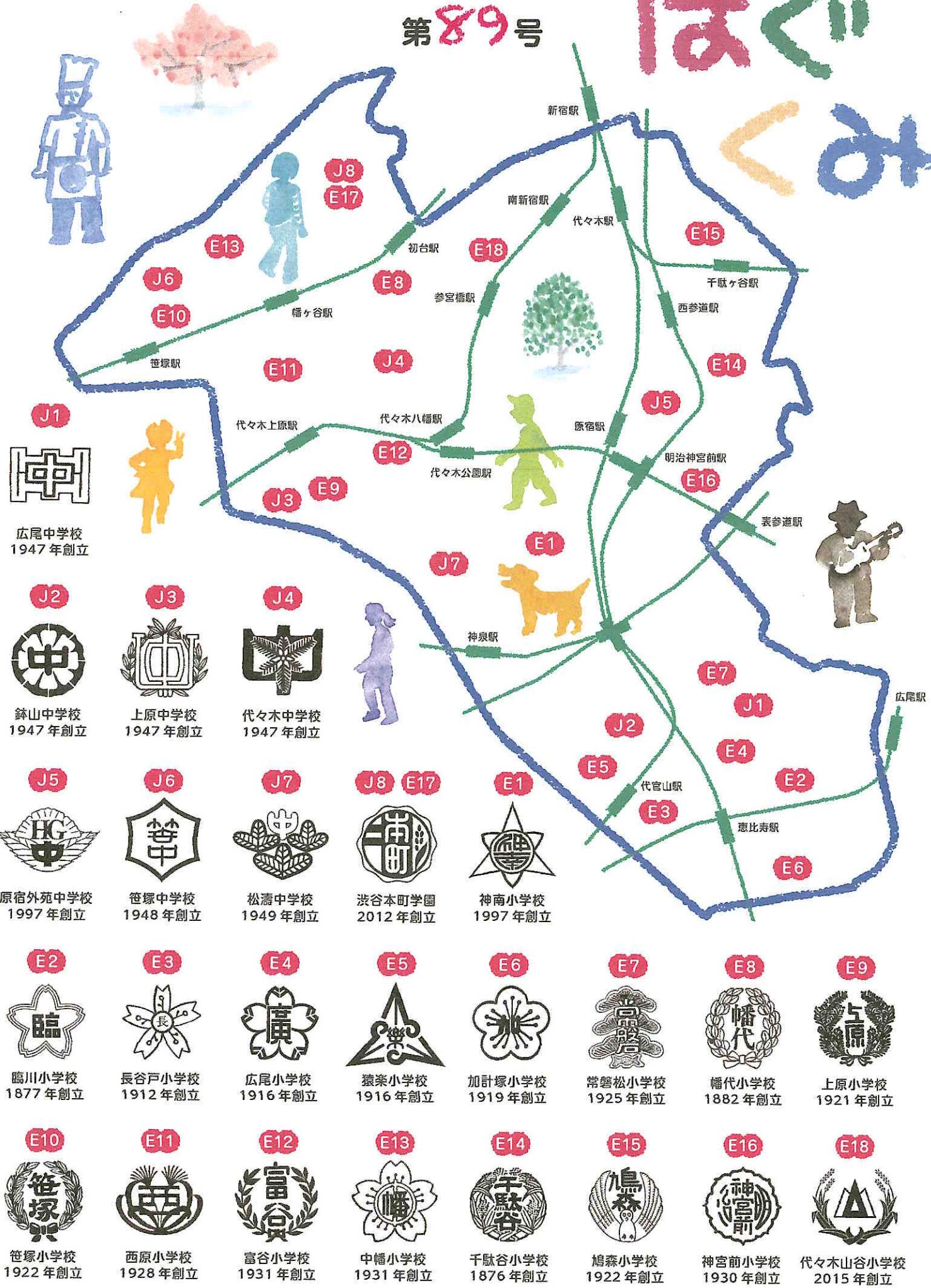


はぐく み

第89号



渋谷区立小中学校PTA創立年一覧

番号	学校名	学校創立	PTA創立
1	神南小学校	平成9年(1997年) 4月	平成9年(1997年) 4月
	(合併) 渋谷小学校	明治8年(1875年)3月	昭和23年(1948年) 3月
	大和田小学校	明治40年(1907年)1月	昭和24年(1949年) 2月
	大向小学校	大正5年(1916年)4月	昭和24年(1949年) 4月
2	臨川小学校	明治10年(1877年)12月	昭和23年(1948年) 7月
3	長谷戸小学校	明治45年(1912年)4月	昭和22年(1947年) 5月
4	広尾小学校	大正5年(1916年)5月	昭和21年(1946年) 2月
5	猿楽小学校	大正5年(1916年)5月	昭和26年(1951年) 4月
6	加計塚小学校	大正8年(1919年)4月	昭和24年(1949年) 3月
7	常磐松小学校	大正14年(1925年)12月	昭和24年(1949年) 5月
8	幡代小学校	明治15年(1882年)2月	昭和23年(1948年) 8月
9	上原小学校	大正10年(1921年)4月	昭和24年(1949年) 4月
10	笹塚小学校	大正11年(1922年)4月	昭和24年(1949年) 7月
11	西原小学校	昭和3年(1928年)4月	昭和23年(1948年) 5月
12	富谷小学校	昭和6年(1931年)4月	昭和24年(1949年) 10月
13	中幡小学校	昭和6年(1931年)4月	昭和24年(1949年) 2月
14	千駄谷小学校	明治9年(1876年)6月	昭和23年(1948年) 12月
15	鳩森小学校	大正11年(1922年)9月	昭和23年(1948年) 4月
16	神宮前小学校	昭和5年(1930年)4月	昭和24年(1949年) 3月
17	渋谷本町学園	平成24年(2012年)4月	平成24年(2012年)4月
	(合併) 本町小学校	大正12年(1923年)4月	昭和23年(1948年) 6月
	本町東小学校	昭和38年(1963年)4月	昭和38年(1963年)4月
	本町中学校	昭和30年(1955年)10月	昭和30年(1955年)10月
18	代々木山谷小学校	平成27年(2015年)4月	平成27年(2015年)4月
	(合併) 山谷小学校	大正9年(1920年)4月	昭和23年(1948年) 10月
	代々木小学校	昭和28年(1953年)4月	昭和28年(1953年)4月
1	広尾中学校	昭和22年(1947年)4月	昭和22年(1947年) 5月
2	鉢山中学校	昭和22年(1947年)5月	昭和22年(1947年) 3月
3	上原中学校	昭和22年(1947年)5月	昭和22年(1947年) 5月
4	代々木中学校	昭和22年(1947年)5月	昭和22年(1947年) 7月
5	原宿外苑中学校	平成9年(1997年)4月	平成9年(1997年) 4月
	(合併) 外苑中学校	昭和23年(1948年)4月	昭和23年(1948年) 4月
	原宿中学校	昭和37年(1962年)4月	昭和37年(1962年) 4月
6	笹塚中学校	昭和23年(1948年)6月	昭和23年(1948年) 6月
7	松濤中学校	昭和24年(1949年)4月	昭和24年(1949年) 5月
8	渋谷本町学園	平成24年(2012年)4月	平成24年(2012年)4月
	(合併) 本町小学校	大正12年(1923年)4月	昭和23年(1948年) 6月
	本町東小学校	昭和38年(1963年)4月	昭和38年(1963年)4月
	本町中学校	昭和30年(1955年)10月	昭和30年(1955年)10月

渋谷区PTA連合会史

昭和25年(1950年)9月	渋谷区立小中学校PTA連合会発足
昭和35年(1960年)	渋谷区立小中学校PTA連合会解散
昭和36年(1951年)6月	渋谷区立小学校PTA連合会発足
昭和36年(1951年)7月	渋谷区立中学校PTA連合会発足
昭和39年(1951年)6月	渋谷区立小中学校PTA連合会連絡協議会発足
昭和40年(1952年)	小P連で、親睦バレー・ボーラー・卓球大会始まる
昭和40年(1952年)	中P連で、親睦卓球大会始まる
昭和48年(1973年)	はぐくみ発行始まる
昭和57年(1982年)	広尾中学校に、渋谷区で初めて「父親の会」が発足

作成：平成30年10月24日 渋谷区立小学校PTA連合会 元総務委員長 佐藤 暢晃 氏(千駄谷小学校PTA元会長)

小中P協とは？

小中P協とは正式名称を渋谷区立小中学校PTA連合会連絡協議会といい、昭和39年に小P連、中P連相互の親睦と連絡を密にし、活動の向上発展を目的として発足しました。小Pと中Pが合同で委員会を運営し、現在でも合同総務委員会では会報誌「はぐくみ」を発行、合同研修委員会では合同研修会を開催しています。以前は合同厚生委員会の青少年育成事業や親睦事業が事業の中心で、子供の健全育成を目的に、親睦の機会として、運動会を行ったり、映画上映会やマジックショーなどイベントを開催してきました。

元小中P協会長、現小P連副会長 田村 康雄

小中P協会長より

令和3年度、渋谷区立小中学校PTA連合会連絡協議会会长(小中P協)を拝命いたしました、神宮前小学校PTA会長の山田 裕介です。新型コロナウィルスが依然として猛威を奮うなか、私たちの環境はこれまでとは違う生活に変わりました。各学校における学校行事やPTA活動も従来とは違う形となり、密を避けるためにオンラインでの集まりや、イベントができず苦慮している事と存じます。我々小中P協といたしましてもこの令和3年度は例年とは違う形での活動を余儀なくされており、すでに幾つかの事業は中止等を決めております。しかしこのNew Normalの時代において我々PTA活動のあり方を模索している中でも、このようにして「はぐくみ」をオンラインで発行できる機会をいただき本当に感謝しております。今までの紙面での配布と違ったオンラインならではの良さを活かして、より多くの皆様にご覧いただけます。引き続き皆様のご支援、ご協力のほど、何卒宜しくお願ひいたします。

現小中P協、現小P連会長 山田 裕介

渋谷区立小学校長より



神南小学校長 斎藤 等
さいとう ひとし

神南小は、渋谷駅周辺や区役所、代々木公園など多くの人が集う区の中心地にあり、旧渋谷小・大和田小・大向小の3校が統合されて、24年目を迎えました。児童は、駅周辺の再開発のエネルギーに負けず、「明るく、力いっぱい」に学習や生活に取り組み、未来に生きる力を育んでいます。音楽教育も盛んで、区内一と評される鼓笛隊や課外活動での「神南ニュープラスバンドクラブ」は地域のお祭りなどでも活躍しています。



臨川小学校長 佐伯 孝司
さえき たかし



「つなげよう 未来へ スマイル臨川」—子供も大人も笑顔でふれあえる学校づくりに取り組んでいます。特になかよし班（異学年交流）の活動では、下級生を思いやり、責任をもつて活動する上級生の笑顔と、上級生の優しさを感じ取り、感謝と協力の心を表す下級生の笑顔がふれあいます。前向きで友達を理解し支える子供たちの姿に、頼もしさ・やさしさを感じます。そのような子供たちをPTA、地域がいつも支えてくださっている臨川小です。



長谷戸小学校長 佐藤 公信
さとう きみのぶ

長谷戸小学校は、恵比寿の町に位置し、開校109年を迎えます。児童数はここ数年増加の傾向をたどり、現在、8学級、児童数217名の中規模校です。「長谷戸」の学校の名の通り、学校の周辺には多くの坂道が点在します。校門は、「夕焼け坂」の途中にあります。これは『夕焼け小焼け』を作曲した草川信先生が、本校の音楽教師であったことに由来します。昔はこの坂道からきれいな夕焼けが見られたであろうと、思いを馳せています。



広尾小学校長 木下 和弘
きのした かずひろ

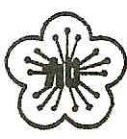
広尾小学校は、大正5年に開校して以来、今年度で105周年を迎えます。校舎は国の有形文化財に登録されている歴史的建造物です。「ひろがる未来 おおきな夢を」をキャッチフレーズに、ICT機器の活用をはじめ、子どもたちが未来に向かって大きく羽ばたき、将来、この広尾の地域で活躍できる人材となるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動を推進しています。



猿楽小学校長 宮田 俊明
みやた としあき



猿楽小学校は、戦時中の疎開先である富山県にある射水市立金山小学校と交流を続けています。お互いの学校を5.6年生が訪問し、絆を深めています。コロナ禍の今は、オンラインを活用し、交流を続けています。金山小学校のある射水市は自然に囲まれ里山の景色が広がるたいへん素晴らしいところです。猿楽小学校の子供たちがこのような素晴らしい自然の中での生活を体験できることは、猿楽小学校の唯一無二のよいところです。



加計塚小学校長 小山 努
こやま つとも



開校以来102星霜、卒業生は11,000名を超え、進学先や地域・社会、世界で活躍されている多彩な人材を輩出している渋谷区立加計塚小学校。この多様な児童や保護者、地域の皆様に愛される学舎に本年4月、近藤新太郎前校長の後を受け、校長の大任を拝みました小山 努（こやま つとも）と申します。2021経営スローガン「一人を大切に、共に学び合い、喜び合える学校」の実現を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。



常磐松小学校長 加藤 真寿美
かとう ますみ

常磐松小学校は、全校児童約140名の小規模校です。教職員を含めて全校児童の顔や名前が互いにわかることが強みです。学年を超えて交流をしている姿が日常的に見られ、とても微笑ましく感じています。今年度は、学校教育目標の中の「つながる子」に重点を置き、「自分も大事、みんなも大事、互いを尊重し合える学校」を柱とした教育活動を進めています。子供たち・学校のために常に前向きに尽力してくださるPTA活動に支えられています。



幡代小学校長 奈良 佳津志
なら かつし



学級数25、児童数720名の幡代小学校は今年度大きな取組をいくつも行っておりますので紹介します。9月22日には「シブヤ科」を取り上げた研究発表会を行いました。（「シブヤ科」って何でしょう）12月18日には創立140周年の記念式典を行います。（歴史があります）全国の小学校に先駆けて5、6年生は教科担任制をやっています。（中学校みたいです）こうした取組を通して子供たちは元気に成長しています。



上原小学校長 河口 尚志

かわぐち ひさし



上原小学校は、今年度創立100周年を迎えました。在校生の子供たちと保護者、歴代の卒業生、そして地域の皆様とともに、上原小学校100歳をお祝いすることができました。11月20日(土)にご来賓の方々を招いて無事、記念式典が行われました。100年に一度しか味わうことできないこの貴重な体験をもとに、これからも上原小が未来に向かってさらに発展していくよう、地域と共に歩んでいきたいと思います。



笹塚小学校長 荒木 憲秀

あらき のりひで



本校は、渋谷区の中でも下町風情の残る笹塚の町にあり、今年度開校100年目を迎える歴史と伝統のある学校です。コミュニティスクールとして3年目を迎え、今年度新たに地域学校協働本部も設置されました。今後とも地域との連携・協働を推進し、教育活動を通じて豊かな街づくりに貢献していきたいと思います。また、ICT活用にも力を入れており、全国に先駆けた「学習者用デジタル教科書導入モデル校」として、活用を推進しています。



西原小学校長 曽我 泉

そが いずみ



京王新線「幡ヶ谷駅」と小田急線「代々木上原駅」の間に位置する西原小学校は、児童数600人、学級数19学級(令和3年5月現在)の学校です。60周年の頃から30年ぐらい「けん玉」の活動が続いている。6年生になると、さまざまな技ができるようになります。アサガオの芽が出たことや育てている虫を大事そうに見せてくれる低学年。お友達のよいところを見つけて教えてくれる中学年。自分の役割に責任をもち、下級生を温かく見守る高学年。みんながそれぞれに「輝く 西原っ子」です。



富谷小学校長 博多 正勝

はかた まさかつ

富谷小学校は小田急線の代々木八幡駅のすぐ近くにあり、代々木公園も徒歩圏内のため、恵まれた環境の中で教育活動を行っています。また、昨年度に創立90周年記念行事を終えた伝統ある学校です。コロナ禍はまだ続きますが、同窓生をはじめとした地域の方、保護者の方にお力をお借りしながら、子供たちの学びを継続していくとともに、未来を切り開いていくたくましい子供たちに育てています。PTAの皆様と更なる連携を深めていく所存です。よろしくお願いいたします。



中幡小学校長 伊藤 昌克

いとう まさかつ



先日、子供たちが、「折っていたつぼみを教室で育てました」と、校長室に彼岸花を届けてくれました。本校の校庭には季節を感じる生き物や植物が多く見られ、全校朝会で時折紹介しています。このときは「今年も彼岸花のつぼみが出てきました。みんなで大切に観察しましょう」と話していました。それでも、折れてしまうことはあり、見つけた子供たちが助けてくれたのです。小さな命に目を向けて、優しくできる子供たちを誇りに思った一時でした。

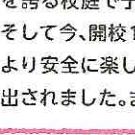


鳩森小学校長 平野 真由美

ひらの まゆみ



鳩森小学校は大正11年(1922年)9月7日に東京府豊多摩郡千駄ヶ谷第三尋常小学校として現在の地に誕生しました。令和4年度には100周年を迎えます。令和3年度の児童数は10月1日現在127人。小規模校ならではの温かな雰囲気の中で、学年を超えた交流と一人一人が活躍できる場が多く設定されています。PTAや鳩森グリーンコミュニティの皆さんによって美しく保たれている天然芝の校庭は目にも優しく、子供たちのお気に入りです。



千駄谷小学校長 加納 一好

かのう かずよし



千駄谷小学校は今年度145周年を迎える渋谷区で一番長い歴史のある小学校です。明治神宮、新宿御苑、神宮外苑に囲まれ、緑豊かな中にあります。渋谷区立小学校一の広さを誇る校庭で子供たちは日々仲良く元気に遊んでいます。そして今、開校145周年の記念にPTAと連携して校庭の総合遊具(プリン山)をより安全に楽しく遊べるよう改修を進めています。子供たちからもアイデアが出されました。また一つレガシーが生まれます。



神宮前小学校長 手代木 英明

てしろぎ ひであき



水車のある学校のSTEAM教育(ICT&アクティブラーニングリッシュ教育)葛飾北斎の「隠田の水車」は、江戸時代の学校近くの風景です。この辺りは湧き水が豊富で、昔は水車業に活用されたり、プールの水にも使われたりしてきました。本校のシブヤ科のテーマは「水とSTEAM教育」です。自然を巧みに利用した先人の知恵とプログラミングや3Dモデリングとアクティブラーニングリッシュを学びます。神宮前小は地域を大切にし、最先端の教育にチャレンジしています。



代々木山谷小学校長 盛永 裕一

もりなが ゆういち



代々木山谷小学校の子供たちは、元気で活発。いつも前向きです。そんな子供たちが406名在籍し、創立7年目の学校です。「思いやりのある子」、「考える子」、「元気な子」の教育目標の下、学習に運動に、そして人間形成に、毎日意欲的に取り組んでいます。

昨年度、コロナ禍ではありましたが、創立5周年記念事業を実施することができました。これからも歴史や伝統を紡いでいきます。



渋谷区立中学校長より



広尾中学校長 山本 茂浩

広尾中学校の特色は、広尾高校との「中高連携教育活動」です。年間2回、大きな広尾Shipという取組があります。広尾高校の1年生と共に、授業体験や部活動体験、また、中学生のプレゼンに対するアドバイスをいただけたりと、身近に自らの将来の姿をイメージすることができます。高校生との連携教育活動を通して、中学生の成長する様子を見ることができます。明るく素直な広尾中学校の生徒の皆さん、勉強に部活動に、そして行事に熱く燃える素敵な生徒です。



鉢山中学校長 小幡 政明



鉢山中学校は、生徒数100名ほどの小さい学校です。その分、生徒同士が学年の枠を超え、大変仲の良い学校生活を送っています。理数教育重点校として、STEAM教育に取り組んでいます。理数の特別授業やプログラミングのほか、読書教育や新聞活用など教養を高める学習も行っています。さらに、国際理解教育にも力を入れ、台湾の中学校とのオンライン交流も行いました。理数の力と教養と国際感覚を身に付けた生徒の育成が目標です。



上原中学校長 浜田 真二

上原中学校の特色は、「教科教室型」の校舎です。生徒が授業ごとに各教科の教室間を移動します。そのため廊下やオープンスペースが広々としていて、生徒のびのびと学校生活を送ることができます。ゆとりは豊かな心も育むのではないかでしょうか。本校は穏やかでおおらかな生徒が多い気がします。私のお気に入りは、校舎の間にぽっかりとある緑豊かな中庭です。3階テラスから眺める中庭は、避暑地の別荘にいるような錯覚を起こします。



代々木中学校長 川上 弘文



代々木中学校は、生徒数約390名の区内で最も大規模な学校です。また、渋谷区スポーツ等部活動強化校として、現在10の運動部、6の文化部が毎日の活動に励んでいます。週2回希望者を募って朝ランニングをする等、生徒は元気いっぱいの毎日を送っていますが、授業では落ち着いた雰囲気の中、タブレットを活用しながら真剣に取り組んでいます。体育祭やもみの木祭も大変盛り上がり、充実した学校生活を送ることができる魅力あふれる学校です。



原宿外苑中学校長 駒崎 彰一

都会のオアシス鎮守の社「明治神宮」そして国立競技場はじめとする文化とスポーツの街「外苑」。ファッショングルメなど、トレンドの先端を行く「原宿」。素晴らしい環境の中で「グローバル人材育成推進校」としての取組を展開しています。多様な他者と協調するとともに先端技術を使いこなし、解のない「課題」に挑む。Connect to the Future –Challenge & Evolution– 未来への継承「挑戦」と「進化」を目標に世界をリードする人材育成に取り組んでいます。



笹塚中学校長 大友 文敬



コロナ禍で、様々な制限がある中、今できることを精一杯取り組んでいる生徒の姿を嬉しく思います。学校生活の様々な活動の中止が続いているが、今年は笹塚中の伝統行事、稲作体験を実施することができました。農園・保護者・親父の会の方のご協力を得て、生徒たちは貴重な体験をすることができました。今後も、新たな取り組みを模索し、保護者や地域の方と連携した教育活動を進め、学びを止めない工夫が大切と感じています。



松濤中学校長 守原 智信

松濤中学校では英語の授業はもちろん、朝のモーニング・レッスン、実技教科や学校行事での英語の活用、2年生でのイングリッシュ・キャンプ、英語劇チャレンジ等、学校生活の中に英語を多く取り入れて教育活動を進めています。松濤中というと英語教育がクローズアップされますが、すべての教科で工夫した授業が行われており、部活動も盛んで大きな成果を上げており、生徒たちは明るく一生懸命に学習や諸活動に励んでいます。



渋谷本町学園校長 斎藤 茂好



渋谷本町学園は平成24年4月、区内最初の小中一貫校として創立され、本年度で10年目を迎えます。9年間を見通した教育指導と相互交流を旨に教育活動を展開しております。さて、先の見えないコロナ禍にあって、人と人との関係が次第に薄れてきています。社会を維持する根本は信頼であり、他者への信頼は、視覚と聴覚だけではなく、嗅覚、味覚、触覚の感覚を使って築かれるものです。視覚と聴覚を主とするリモートやネットで、分かり合えると脳は錯覚します。しかし、信頼を築くためには五感から他者の温もりを受け取ることが大切です。これまで情報社会を築いてきましたが、そこは信頼を欠いたものであるということをコロナ禍が教えてくれています。

